

# 八丈高校 園芸科 通信

2020年8月31日号

短かった夏休みも終わり、8月24日からは2学期が始まりました。夏休みの短縮に伴い、今年度園芸科では夏休み中の実習は実施しませんでした。3年生は課題研究のために自主的に登校し、作物の管理や観察などを行っていました。

8月22日には中学生の1日体験入学が実施され、8名の中学生が園芸科の授業を体験しました。園芸科の生徒たちも手伝いとして参加し、準備や片付けを行ったり、中学生にアドバイスを送りました。

今回は8月22日に実施した体験入学の様子をお伝えします。

## 開校式の様子



開校式では、学校長挨拶、生徒代表挨拶、担当職員紹介、体験入学生自己紹介、本日の流れの説明がありました。

生徒代表(農業クラブ会長)からは、決して安易な気持ちで園芸科に進路を決めるのではなく、この体験入学などに参加し、園芸科のことをよく調べた上で進路選択した方が良いという話がありました。自ら園芸科を選択し、これまで一生懸命に取り組んできた生徒の言葉として中学生の心にも響いたことと思います。

## 野菜の栽培方法



野菜の実習は、プラスチックカップを利用した野菜(ミニチンゲンサイ、レタス、ハツカダイコン)の播種(たねまき)について学びました。



園芸科の生徒が先生役を務め、黒板を使って説明をしています。これまでに習ってきた知識や技術を人にわかるように教えるということはとても難しいことですが、しっかり説明することができました。

## 草花の楽しみ方



草花の実習は、観葉植物(サンセベリア)の株分けとガーベラの花束づくりについて学びました。



園芸科の生徒はこちらが指示しなくても準備、片付けを積極的に行ってくれました。また、困っている中学生にやさしく、丁寧にアドバイスを行ってくれました。

普段は受け身になることも多い園芸科の生徒たちですが、この日は積極的に参加してくれました。生徒たちの成長した姿を見ることができて私たち教員も誇らしく思います。

次回の体験入学は食品製造の実習を予定しております。詳細は各中学校を通してお知らせします。